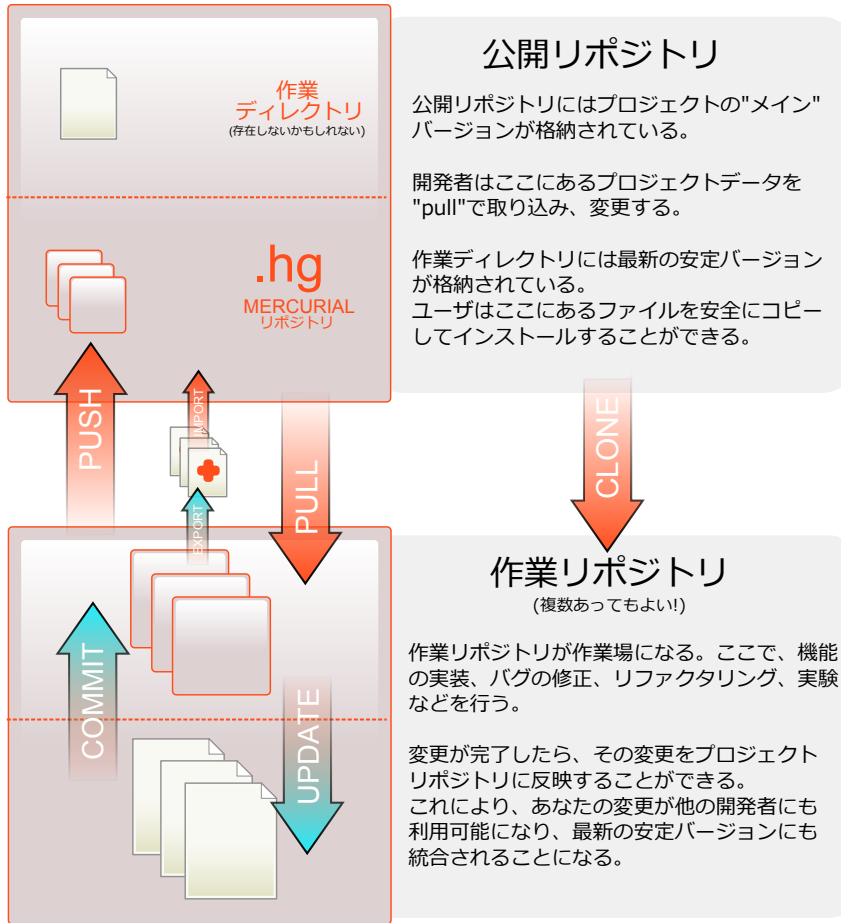


Mercurial Quick Start

<http://www.selenic.com/mercurial>



基本

リポジトリを作成する

```
$ hg init /mnt/projects/myproject  
$ hg clone /mnt/projects/myproject \  
~/workspace/myproject-wip
```

ファイルを管理する

```
$ hg add FILE...  
$ hg remove FILE...  
$ hg rename OLD NEW
```

変更を確認する

```
$ hg status  
$ hg diff -rOLDREVISION FILE...
```

変更をコミットする

```
$ hg commit
```

おかしくなったコミットを取り消す

```
$ hg rollback (その後、再度やり直す)
```

変更を公開する

```
$ hg push /mnt/projects/myproject
```

チーム作業

メインと同期する

```
$ hg pull /mnt/projects/myproject  
$ hg update (手元のファイルを最新リビジョンにする)  
(pullにより新しいブランチが追加される場合、マージが必要になることがある)
```

変更をメインにマージする

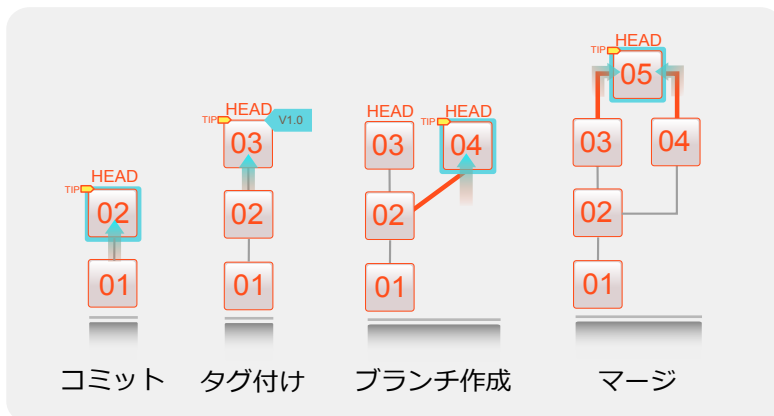
```
$ hg merge PULLEDREV  
その後 (競合が発生することがある)  
$ hg commit (pushしてもよい)
```

パッチを用意する

```
$ hg export FROMREV > feature.patch  
他の人はこのパッチを当てることで、自由に変更をレビューすることができる。
```

他のリポジトリのために変更をまとめる

```
$ hg bundle allchanges.hg ~/otherrepo  
(unbundleを使うことによって)他のリポジトリ管理者はあなたの変更を簡単に統合することができる。
```



その他

古い/新しいリビジョンに切り替える

```
$ hg update -C REVISION
```

リビジョンに明確なタグを付ける

```
$ hg tag v1.0
```

変更履歴を表示する

```
$ hg log
```

Sébastien Pierre
Xprima Corp.
日本語版
Takashi Sasai
(<http://www.textdrop.net/>)

